

1.心掛け(礼節)

- ①自分に厳しく、人に優しく
- ②挨拶をしましょう。
局を始める前には よろしくおねがいします
局の終了時には ありがとうございました
- ③対局者の批判は慎みましょう。

2.洗牌と配牌

- ①洗牌は河(ホー)にある牌を裏返し、極力表にならない様に混ぜましょう。
- ②牌は17山二段積みとします。
- ③表ドラは、原則割れ目(配牌取出し山の前)の人が親の第一打が河(ホー)につく前までにめくりましょう。嶺上牌は崩れない様に下段に降ろしておきます。
- ④親は子が全員配牌終了したことを確認した後、捨て牌を行ないます。

3.対局進行中

- ①捨て牌を構成する河(ホー)は6枚切りにします。
- ②先ヅモ、強打、引きヅモは厳禁です。また、ツモ牌に触れた時点で、副露(チー、ポン、カン)の権利は消滅したとします。行使するとアガリ放棄となります。
- ③対局中の手牌に関する発言、及び口三味線は禁止行為です。
- ④チー・ポン・カン・ロン・ツモの発声は明確に行ないましょう。無声での行使はアガリ放棄の対象となります。
- ⑤副露(チー、ポン、カン)の行為は、発声後必ず牌をさらしてから捨て牌を行ないましょう。
- ⑥局進行を円滑に行なうために、ツモ牌は端に置いてなるべく捨て牌後に手牌に入れるようにしましょう。時間を要する場合は、一言「すみません」と声を掛けるとよいでしょう。
- ⑦点棒の享受は丁寧に相手の近くに置くように心掛けましょう。
- ⑧対局中は、原則相手の点数確認は極力行なわないこと。本人の雀力向上のためなので、本人から扶助を求められた場合のみ相手の点数確認を行いましょう。
- ⑨立て肘及び立膝をした対局は遠慮ください。
- ⑩打牌(牌を捨てる行為)は、たとえ牌から手を離していなくても河(ホー)に接地した時点で、打牌の入替えまたは副露(ポン、カン)の権利は消滅します。行使するとアガリ放棄となります。

4.流局及びアガリ時

- ①テンパイ及びノーテンの意思表示は迅速に明確に行ないましょう
テンパイは理牌(リーパイ)してから倒牌公開し、ノーテンは牌を伏せます。
- ②アガリ牌について、ロンの場合はその場に残したままにします。ツモの場合は、手牌の端に置いて倒牌し公開します。この時手牌の中に決して入れてはいけません。点数計算の阻害になるからです。
リーチしてのアガリの場合、裏ドラは必ずアガリ者が手牌の前に表ドラと並べて公開します。
明確に公開せずに崩した場合はチョンボ扱いになる場合があります。
- ③点数の授受が終わった後、河(ホー)の牌を裏返しにしてから牌山などを崩すようにしましょう。

5.点棒の授受

- ①原則千点棒はリーチ用に一本、手元に残すように享受を行ないましょう。
- ②支払いを行なう場合は受取者が明確にわかる様に前に置き、支払者はお釣りの申告を行ないます。
- ③点棒の貸し借りは厳禁とします。

6.対局終了時

- ①各自点棒計算を行ない、30000点を原点として100点を 0.1 ポイントに換算して申告します。
責任者は記録用紙にその旨を記録します。
- ②各自のポイントの総数が±0 になる様に再度計算します。合致した時点で終わりの挨拶をしましょう。
- ③各自点棒箱に30000点になる様に戻しましょう。
一万点棒一本、赤一万点棒二本、五千点棒二本、千点棒九本、百点棒十本

7.後片付け

- ④後片付けする時は、点棒箱の中が空であることを確認しましょう。
- ⑤点棒をしまう時は、本数の確認をしましょう。
一万点棒四本、赤一万点棒八本、五千点棒八本、千点棒三十六本、百点棒四十本